

## 内視鏡手術支援ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術の 自己負担額の目安

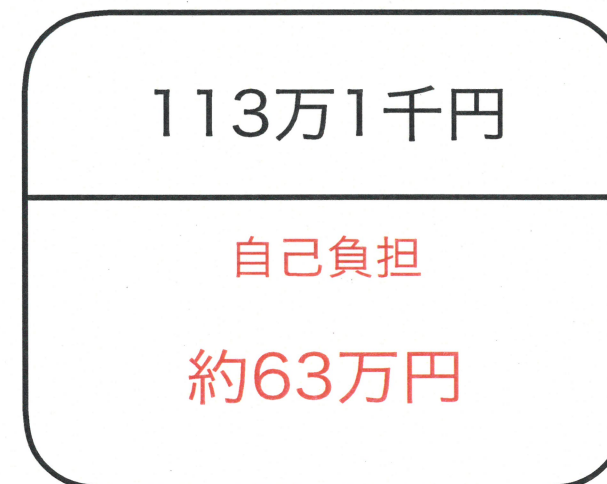
1. 通常の治療と共通する部分（診察、検査、投薬、入院料など）は、保険外併用医療費分となり、健康保険が適応されます。
2. 先進医療に係る費用 113万1千円のうち、約63万円が患者負担となります。

通常の治療と共通する部分  
(保険外併用療養費)



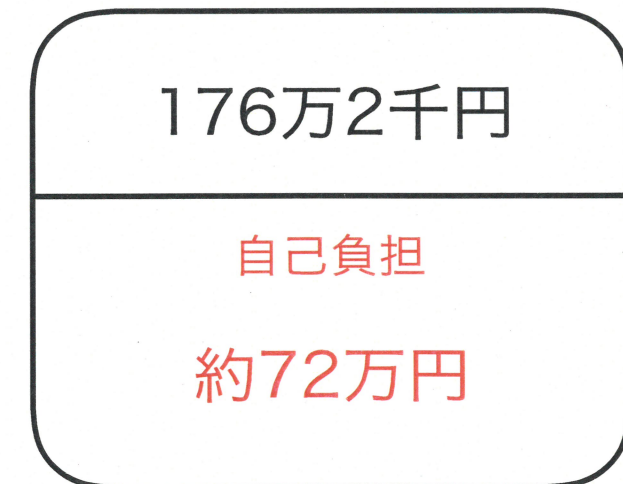
+

先進医療に係る費用



=

合計



\* 健康保険3割負担では、自己負担額は19万円となり、さらに高額療養費制度が適応され、70歳未満一般所得者（年収370～770万円）では実際の負担額は約9万円となります。

先進医療制度では、先進医療に係る費用は通常全額自己負担になりますが、本先進医療では50万円をIntuitive Surgical社が負担するため、約63万円が自己負担となります。

自己負担額合計は約72万円となります。